

製造業分科会資料

1. 製造業分科会の目的

製造業分科会では、エコアクション21ガイドライン2009年版の別表2環境への取組の自己チェックリストの項目である「事業活動へのインプットに関する項目」「事業活動からのアウトプットに関する項目」「製品及びサービスに関する項目」「その他」の4項目を充実させる目的で分科会を開催する。

事前アンケートにより各審査人より提出された「好結果につながった事例又は、つながるであろう提言」を基に、各グループにおいてベストプランになるようブラッシュアップを行い、参加審査人が共有できる効果的なアドバイスの集積を図って参りたいと考えております。

2. グループ討議の進め方

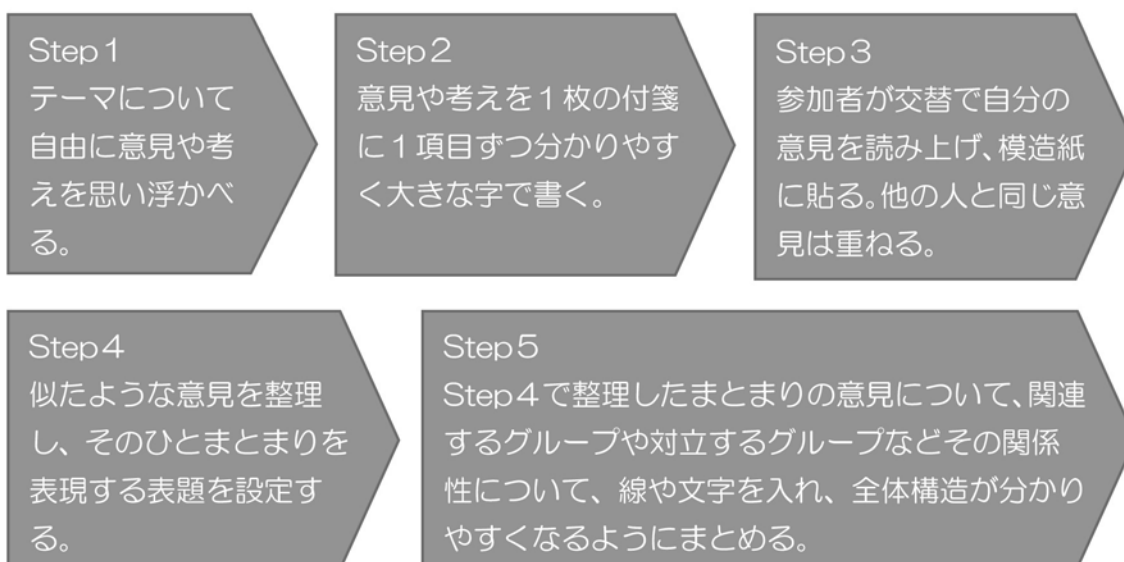
- ◎本日のグループ討議は、参加者みなさんが、お互いの立場や意見を尊重しながら『効果的な提言内容』について話し合う場です。
- ◎みなさんが主役の話し合いなので、進行やまとめなどは、基本におまかせします。
- ◎通常の会議とは異なり、誰もが自由な発想で意見を出し合い、参加者全員で議論しながら、グループごとに意見をまとめます。
- ◎グループ討議をサポートするためのスタッフが、グループを巡回しますのでご安心下さい。
- ◎なお、参加にあたっては、実りある会議になるように「ルール」があります。

【話し合いのルール】

- 自由に発想し、他人の意見を否定しない
- お互いの自主性を尊重する
- 全員が発言する
- 考えが変わった場合、意見を変えてもよい

今回のグループ討議では、KJ 法という手法を使います。KJ 法は、各自の頭の中にある意見・アイデアをグループ化し、論理的に整理する手法です。KJ 法の主な流れは以下のとおりです。

【KJ 法の流れ】



3. グループ討議を進める上での考え方

1. 課題とその事情の確認

(1) 解決を求められている問題は何か

- ① その内容及び中心点は何か
- ② なぜそれは課題になっているのか。その重要性、緊急性はどうか
- ③ その課題はグループ全体にとってどんな意味をもつか
- ④ その課題を解決するために必要な資料、背景はないか

(2) 課題解決のために、それに関連する事情・背景、事実、意見等々として、どんな要素、条件、要件が考慮される必要があるか。またそれが考慮されなくてはならない理由は何か

2. 課題の解決案づくりの努力

(1) 可能と思われる解決策を探求し検討する

- ① 解決を求められている問題（1－（1））と、示されているいくつかの要素（1－（2））とに対し、どんな解決が可能か、またそれで解決が可能と思われる理由は何か
- ② 解決策について、メンバーで一致できる点は何か。事実に関して、意見について。

③ 一致しない点があれば、その判断の基礎となる経験、資料、情報の範囲、信頼度、及びその扱い方等々について、検討する必要のある点は何か。意見や価値基準に相違があれば、その根拠、背景は何か、その差の原因は何か。それは除くことができるか。

④ 一致できるためには、何が必要か、何を更に検討する必要があるか。

(2) 結論（解決策）を決定する

① 検討されたいいくつかの案のうち、もっとも適切で、メンバーの支持している案はどれか

② 一致案が見つからなかったとき、それに最も近い案、妥協できる案はどれか

③ 採択案のベースとなる事実と意見は何か。それは振りかえってみて、本当に妥当か。また討議中で見落とした重大な点はないか

3. 解決案の実行方法の検討

(1) 解決案を実行に移す方法は具体化できたか

(2) その方法を実行するについての見通しはどうか

(3) そのためにメンバーは何をしなくてはならないか、またそれぞれの分担は何か

4. 実行結果の検討

(1) 採択した結論は正しかったか。予期した結果が得られたか

(2) 正しくなかったとしたら、いかなる点で誤りがあったのか

(3) 今後、その誤りを避けるためには、どうすべきか

4. グループの討議結果の発表

各グループにおいて討議された効果的なアドバイスの発表について、用意している模造紙に以下の項目を記載して発表してください。

【模造紙記載例】

第 班	項目（4項目より選択し記入）
業 種	事業者規模
○課題	
○アドバイス内容	
○有効的な効果	
シール欄	

5. 製造業分科会スケジュール

区分	目標タイム		内 容	備 考
開会	15:15～ 15:18	3	【開会挨拶】	
グループワーク	15:18～ 15:25	7	【オリエンテーション】 ○趣旨説明 ○スケジュール確認 ○グループ内役割決定	○各卓役割分担 進行：審査経験年数の多い審査人 書記：地域事務局 発表者・タイムキーパー：議長が指名
開会	15:25～ 15:30	5	【自己紹介】	氏名、県名、審査経験
グループワーク	15:30～ 16:15	45	【グループワーク①】 ガイドライン2009年版『取組みの自己チェックリスト』の項目追加を考慮した討議 ①指導事例発表 ○各自の事例発表 ○地域事務局が発表者の事例を書きとめる ②質疑応答	①1人3分×8名（9名）≒24分（27分） ○今回アンケートに記載された、各自の事例、課題・アドバイス・効果 ○アンケート記載されなかった審査人は効果的なアドバイスについて ②質疑応答 10分
	16:15～ 17:05	50	【グループワーク②】 グループ内ベストプランの協議・検討について ○事例についてベストを協議 ○ベストについて、内容を追加してよりよいものに検討	書記：地域事務局 ※模造紙に大きく記入
	17:05～ 17:40	35	【グループ別・ベストプランの発表】 ○ベストを発表	1卓3分×14卓 項目分類を実施
	17:40～ 17:50	10	【ポスターセッション】 グループ別・発表内容をもとに、製造業における、好指導例の選出	各テーブルを回り、1人1ポイントを投票（丸シールを貼る）
	17:50～ 18:00	10	【ポスターセッション集計及び結果発表】	
	18:00～ 18:10	10	【総評】	

講演

分科会
概要説明第1分科会
建設第2分科会
製造第3分科会
廃棄物第4分科会
その他全体研修①
分科会発表全体研修②
講演

活動紹介

全体研修③
総評

参考資料